

こ、わ、つ、と！



令和5年3月
川越市教育委員会地域教育支援課

川越子どもサポート発表会を開催することができました

2月4日（土）、川越市やまぶき会館において、「川越子どもサポート発表会」を3年ぶりに開催することができました。この発表会は、子どもたちの「生きる力」を育むために、学校・家庭・地域がどのように連携を進めていけばよいのか、その取組について、実践発表を中心に、みんなで考える機会として実施されているものです。

発表会当日は、感染拡大防止対策として、出席者の人数を制限し、各地区のサポート委員をはじめ、学校関係者、保護者など約200名の方々に参加していただきました。



発表地区の説明や資料・スクリーンの映像等を通して、各地区の活動を知ることができ、それぞれの地域における今後の活動推進につながるものと思われます。

発表会では、はじめに13地区のサポート委員会の活動の様子がスライドとナレーションで紹介されました。いずれの地区も、知恵と工夫で少しずつ活動が再開されてきたところで、子どもたちが生き生きとした表情で、楽しそうに活動している姿が映し出されていました。

つづいて、今年度代表の福原地区の実践発表がありました。福原地区の状況、地域の特色を活かした事業の様子や今後の課題等について発表がありました。地域の方々が、子どもたちを温かく見守り、みんなで育てていることが実感できる発表でした。

その後、子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」で、ベスト見つけ賞（金賞）に輝いた8名の作品発表（うち1名は事前に撮影した動画による発表）と7名の表彰が行われました。作文・絵画・新聞それぞれの部門で受賞した子どもたちの発表は大変素晴らしく、参加者からあたたかい拍手をいただき、会場は和やかな雰囲気につつまれました。どの作品や発表からも、子どもたちが強い思いや瑞々しい感性を持っていることが感じられました。

遠藤実行委員長からは「子どもたちの作品は川越愛にあふれていると感じました。」という講評をいただき、盛況のうちに幕を閉じることができました。



川越子どもサポート発表会 代表地区（福原地区）発表

福原地区地域子どもサポート委員会

【親子芋ほり体験】

今年度は、令和4年11月12日（土）に行いました。毎年、春から役員がさつま芋畑の管理を行っており、立派なさつま芋ができています。参加した子どもたちは収穫の喜びを感じることができました。



【夏休み勉強会】

今年度は、令和4年7月25日（月）と7月28日（木）の2日間行いました。福原地域会議と共催で、学習ボランティアの協力のもと、学習指導、子どもの見守り等、夏休み中の子どもの居場所づくりを行っています。



【あいさつ・声かけ運動】

1年間を通して、月2回、朝の登校時に、福原小学校または福原中学校の校門近くで、児童生徒とあいさつを交わします。



今年度も新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、一部の事業が中止となってしまいました。しかしながら、私たちは、地域の特性を活かした事業と学校応援団活動を通して、可能な限り、子どもたちの成長に寄与してきました。その1つの例が、親子芋ほり体験です。

一方、畑の管理などの課題も生じており、見直しを進めているところです。

福原地区は、「青少年を育てる福原地区会議」においても、子どもたちのための事業を多く行っています。

子どもサポート委員会では、「青少年を育てる福原地区会議」と協力し、常に子どもたちのために思い、今後も地域と連携・協力し、事業の充実を図っていきます。



第4回川越市子どもサポート本部会議が開催されました

「川越子どもサポート発表会」について、参加者や役員のアンケート結果も参考にしながら、成果と課題を出し合い、協議を行いました。

あわせて、各地区の現状や課題、本部会議のあり方、川越子どもサポート発表会、子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」について、来年度に向けて話し合いを深めました。

子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」入選作品

※各部門とも、小学校低学年（小1～小3）、小学校高学年（小4～小6）、中学生の3クラスに分けて審査しました。

① 作文部門

○ベスト見つけ賞（金賞）

霞ヶ関東小3年 岡本 光莉
「手話と歌で明るい川ごえに」

中央小4年 佐野 ことは
「ついに4年生！」

手話をしながら歌を歌うサークルの活動を通して、みんなが笑顔になれる歌を元気に届けたいという思いを力強く書くことができました。

念願のおはやしの団体に加入できた喜びと「山車の上で演奏や踊りをできるようにがんばりたい」という強い決意を書くことができました。

○小江戸賞（銀賞）

泉小1年 田中 龍生
「ひやくまんとうまつりでおどったこと」

泉小4年 林 舞織
「大好きな場所」

○子どもサポート賞（銅賞）

川越西小6年 秋山 楓奈 「わたしたちのハロウィンイベント」

○入賞

仙波小5年 島津 遼大 「おはやしについて」
仙波小6年 福島 琉迦 「受けつぐ気持ち」
東中 1年 内海 佐保子 「私の地区のお祭り」

② 絵画部門

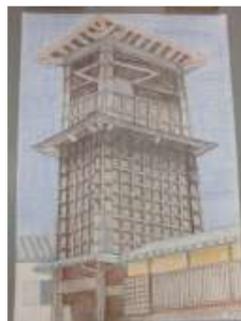
○ベスト見つけ賞（金賞）



小学校3年 平野 梨央
「川越氷川神社のたいは人気」



霞ヶ関北小6年 川原田 藍子
「夏の朝の蓮馨寺」



福原中1年 原 七海
「時の鐘」

○小江戸賞（銀賞）

武蔵野小3年 富樫 ゆず
「新河岸川のさくらと姉とわたし」

高階小6年 宮地 和花
「蔵の街並み」

野田中1年 丸山 梨珠
「提灯のある街」

○子どもサポート賞（銅賞）

高階西小3年 横山 昂永
「石原のささら獅子舞」

南古谷小6年 西川 丈
「川越城が育む文化と自然」

福原中1年 金子 向日葵
「さといもの姿」

○入賞

古谷小2年 會田 和心凜
「川ごえ氷川神社の風りんと美人」

武蔵野小6年 柴田 侑花
「喜多院五百羅漢」

大東中3年 伊藤 幸姫
「にぎやかな川越」

霞ヶ関東小3年 柴田 宗一郎
「ぼくのおいも」

霞ヶ関東小6年 田村 美紗
「トルコランプの灯」

③新聞部門

○ベスト見つけ賞（金賞）

大東西小3年 中村 愛奈夏
「私の街小江戸川越」

上戸小6年 阿部 心咲
「これは役立つ!!わたしの街新聞
知ってる? AEDの設置場所」

川越第一中3年 宮田 深央
「川越唐棧」



○小江戸賞（銀賞）

泉小3年 稲川 侑汰
「川越城新聞」

川越第一小4年 筋野 有莉
「川越街並み新聞」

城南中2年 小野寺 美有
「川越の野菜新聞」

○子どもサポート賞（銅賞）

月越小3年 兵藤 莉奈
「かわごえじまんしんぶん」

芳野小6年 藤崎 祐次
「川越まつり新聞」

野田中2年 印藤 音哉
「川越サイクリング新聞」

○入賞

牛子小2年 原口 美織
「こうえん新聞」

川越小5年 鈴木 詞葉
「すごいぞ川越まつり新聞」

城南中2年 椋本 瑠愛
「川越城本丸御殿」

大東東小2年 太田 環名
「地域紹介」

武蔵野小4年 中村 彩乃
「昔ばなし川越の伝説新聞」

東中1年 中村 暁
「古谷の神社の謎」

子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」作品展が開催されました

今年度も、子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」作品展が、川越市立美術館市民ギャラリーとアートホール（2月15日～19日、全応募作品の展示）で開催されました。

開催期間中、全応募作品837点が展示され、来場者は1055名でした。

アンケートでは、「川越というテーマの中でも、それぞれいろいろなシーンを切り取っていて、自分の住む町をさまざまな角度から見ることでうれしかった。」「熱意のこもった作品がたくさん展示されており、思わず息をのんでしまいました。」等の感想をいただきました。今後も、子どもたちが地域の方々とのふれあいをとおして、川越や地域のすばらしさを感じながら成長していったほしいと願っています。



1階 市民ギャラリー（絵画）



2階 アートホール（新聞と作文、入選作品）

